

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

| | | | |
|-----------|--|---------|------------------|
| 事業者名 | グール-7°ホーム ふれあい稲田 / | 評価実施年月日 | 平成 21 年 7 月 20 日 |
| 評価実施構成員氏名 | 酒井 勝代 昆島 町子 永田 加奈子 伊藤 美緒 村上 沙由梨 伊藤 佳美 | | |
| 記録者氏名 | 酒井 勝代 | 記録年月日 | 平成 21 年 8 月 5 日 |

北海道

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|---|---|------------------------|---|
| I. 理念に基づく運営 | | | |
| 1. 理念と共有 | | | |
| 1 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。 | 会社独自の運営理念があり、スタッフルームの壁に掲示しています | | |
| 2 ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。 | 理念を書き出した紙をスタッフルームの壁に貼り実践に向けて日々取り組んでいます | | |
| 3 ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。 | ふれあい便りを発行し、御家族へは郵送、町内の皆様には回覧板にて読んで頂き少しでも理解して頂ける様取り組んでいます | ○ | グール-ポホームがどういった所なのか知らない方もいらっしゃるのではお便りや運営推進会議で理解して頂ける様取り組んでいきたいです |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| 4 ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。 | 利用者との散歩で挨拶を交わしたり、会話をすることがあります。またホームの行事(夏祭りなど)の際、案内の紙を回覧したり、呼びかけています | | |
| 5 ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。 | 自治会・老人会等の行事があまり無い為行っておりませんが町内会に参加する様努めています | ○ | 今以上に地域の方と交流ができる様、地域活動に参加していきたいです |
| 6 ○事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。 | 取り組みには至っていません | ○ | 今後取り組んでいける様、検討してきたいです |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで いきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|---|------------------------|--|
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | |
| 7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。 | 評価された事をスタッフ会議等で話し合い改善に努めています | ○ | 前回の評価を基に改善できる様取り組んでいます |
| 8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | ホームを見学して頂いたり、行事の様子や防災訓練等を報告し、意見交換しながら、サービスの向上に活かせる様取り組んでいます | ○ | 運営推進会議の内容や町内会の方の意見を報告書に記載し、スタッフ会議にて報告し意見の反映に努めています |
| 9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。 | 必要に応じて電話連絡を取ったり、出向いて相談する等しています | | |
| 10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。 | 研修や介護関係の資格取得などの勉強で学ぶ努力をしています。また必要時に利用者家族に説明し、それらを活用できる様支援しています | | |
| 11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。 | 勉強会や研修などで学ぶ機会を持ち、スタッフ会議等で話し合い防止に努めています | ○ | 虐待防止に向けて定期的にアンケートを取っています |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 | 契約の際、内容の説明・確認をしながら疑問点等を説明し理解して頂ける様になっています。解約の際は状況に応じ、御家族への支援を行っています | ○ | 面会時やお便り等で御家族の不安疑問等、いつでも相談して頂ける様伝えています |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---|---|-----------------------|-----------------------------------|
| 13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 不満・苦情等訴えがあった場合は職員で話し合い速やかに対応が出来る様にしていきます | ○ | 利用者の話をよく聞き納得される対応を心掛けています |
| 14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。 | 面会時に話をしたり、必要に応じ電話連絡をしています。毎月請求書といっしょにお預りしている金銭のおさずかい帳のコピーを送付しています | | |
| 15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 苦情相談窓口を明示しています 面会に来られた際、声掛け行ないいつでも意見・相談等を受けられる様にしていきます | ○ | 御家族が意見や要望を伝えやすい様、日頃から雰囲気作りに努めています |
| 16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | アンケート調査などを行い反映できる様努めています | | |
| 17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。 | 入浴日、通院、行事等の予定がある時はあらかじめ、スタッフの人数を多くする様にしていきます | | |
| 18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。 | 異動や離職は最少限に抑えています 引き継ぎ期間を設け、利用者へのダメージを防ぐ様配慮しています | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---|---|------------------------|-------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | |
| 19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。 | 段階に応じて研修、勉強会など行なっています | ○ | 研修内容を報告書にまとめ、スタッフ会議で報告しています |
| 20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。 | グループホーム連絡協議会に入会しており定期的に勉強会など行っています | | |
| 21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。 | スタッフ会議や親睦会などで話し合うなどしながら軽減できる様になっています | | |
| 22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。 | 個々の努力や勤務状況を把握する様努力向上心をもって働ける様にしています | | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。 | 入居前に面談・見学等行い、不安・困っている事、希望等を本人からよく聴き、受け止める努力をしています | | |
| 24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。 | 面談・見学をして頂き、困っている事、ホームに対しての要望などを聴く機会をつくり、受け止める努力をしています | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---|--|------------------------|-------------------------------|
| <p>25 ○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p> | <p>本人と御家族が 必要としている事を聴き、今必要とされている対応に添う様努めています</p> | | |
| <p>26 ○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p> | <p>ホームに馴染める様、御家族と相談しながら場の雰囲気作り等、工夫し、配慮しています</p> | | |
| <p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p> | | | |
| <p>27 ○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p> | <p>一緒に家事、食事作りや食器洗いを行ったり畑作りなど教えて頂き行なっています</p> | | |
| <p>28 ○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。</p> | <p>御家族が面会に来られた際、又電話やお手紙で近況をお知らせし、相談等しています</p> | | |
| <p>29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。</p> | <p>お便りや面会に来られた際、御家族の都合を聞き、行事への参加等の声掛けを行い出来る範囲で関わって頂ける様努めています</p> | | |
| <p>30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p> | <p>友人の方や知人の方が面会に来られた際居室、リビング、食堂などでゆくりと過ごして頂いています</p> | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|---|------------------------|---|
| 31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。 | スタッフが会話に加ったり、間に入る事で、利用者同士の交流をとりやすい様、心掛けています。自室にま過ごされている方には声掛け等行なっています | | |
| 32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。 | 入院中の方のお見舞に行ったり、亡くなられた際通夜に足を運んだりしています | ○ | 他の施設へ行かれた方に行事のお知らせ等をし、行事への参加を呼びかける様したいと思えます |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | |
| 33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 御家族と相談しながら対応しています | ○ | スタッフ一人ひとりが御家族とのコミュニケーションをとれる様心掛け、利用者の暮らしの意向を常に考え、出来る範囲で実現出来る様に努めていきたい |
| 34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | 生活歴は御家族の方から聞いたり、書いて頂いた文書を見たり、又本人から聞き取りを生かして支援しています | | |
| 35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。 | ケース記録や個人記録簿に記録し、スタッフ間の申し送りなどで総合的に把握する様に努めています | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | |
| 36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。 | スタッフ会議やカンファレンスなどで目標を立て行っています。介護支援専門員、本人、家族職員で話し合い作成しています | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|--|-----------------------|-------------------------------|
| <p>37 ○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p> | <p>3ヶ月ごとに見直しを行い、又変化が生じた場合、介護支援専門員の監理のもと、関係者と話し合い新たな計画を作成しています</p> | | |
| <p>38 ○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p> | <p>一人ひとりの生活をケース記録に記入し、その他バイタルチェック、食事量、睡眠時間など記録し情報を共有し、介護計画の見直しに活かしています</p> | | |
| <p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p> | | | |
| <p>39 ○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。</p> | <p>本人の希望や家族の要望に応じて、出来る限り柔軟な対応を心掛けています</p> | | |
| <p>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</p> | | | |
| <p>40 ○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。</p> | <p>本人の意向や必要性に応じて、相談・協力しながら支援していきたく思います。</p> | | |
| <p>41 ○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。</p> | <p>必要に応じて相談させて頂きたいと思ひます。</p> | | |
| <p>42 ○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。</p> | <p>運営推進会議などにて、相談・助言を頂ひます。</p> | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---|---|-----------------------|--|
| <p>43</p> <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p> | <p>入居者それぞれ かかりつけの病院での定期受診を行っており、相談もさせて頂いています</p> | | |
| <p>44</p> <p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p> | <p>御家族と相談し 専門医に受診し、相談したりアドバイスや 助言を頂いています</p> | ○ | <p>変化があった事をケース記録や個人生活記録表をもとに医師に相談しています</p> |
| <p>45</p> <p>○看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしています。</p> | <p>事業所として確保している看護師が週2回ホームに来ており、日常の健康管理や医療活用の支援をしています</p> | | |
| <p>46</p> <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p> | <p>各入居者の受診されている医療機関は入院など受け入れてもらえる体制になっており、情報交換や相談をし連携しています</p> | | |
| <p>47</p> <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p> | <p>かかりつけ医に相談し 家族との話し合いも行なっています</p> | | |
| <p>48</p> <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p> | <p>入居者の状態を把握し、御家族、担当医と今後に備えて相談し、ホームとして出来る事、出来ない事を見極め検討しています</p> | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---|--|-----------------------|-------------------------------|
| <p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居室へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p> | <p>本人の混乱されない様な環境作りを目指して御家族とも話し合い情報交換を行ってダメージを防げる様努めています</p> | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | |
| <p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p> | <p>それぞれの入居者に合わせた言葉掛けや対応等プライバシーを損ねない様努めています</p> | | |
| <p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p> | <p>入居者がわかりやすい様声掛け行ない、出来るだけ自分で決めたり納得し落ち着いて暮らしていける様支援しています</p> | | |
| <p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p> | <p>入居者との関わる時間を多く持ち、出来るだけ希望にそって支援しています</p> | | |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | |
| <p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p> | <p>入居者それぞれが昔なじみの理・美容室へ行ったり、スタッフが髪の色を切ったりして支援しています</p> | | |
| <p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p> | <p>一人ひとりに合わせてお粥やきざし食など提供しています。片付けや食器拭き等手伝って頂いています</p> | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|--|-----------------------|-------------------------------|
| 55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。 | 本人と共に買い物へ行き楽しめる様にしています 自己管理が出来ない方は、希望された時にスタッフより渡し支援しています | | |
| 56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。 | 排泄チェック表を用いて把握し、トイレ誘導を行ない失禁を防ぐ様努めています | | |
| 57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。 | 入浴は一日おきに設定しています 本人の希望や状態に合わせて、柔軟に対応しながら支援しています | | |
| 58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。 | 自室のベッドで休まれたり、リビングのソファで横になり休んで頂いています | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | |
| 59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。 | 一人ひとりの生活歴から生活スタイルや趣味などを把握し、その人らしい日常生活を過ごせるよう支援しています | | |
| 60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | 自己管理できる方は各自所持されています 他の方はホームで預り使う際に渡しています 買い物なども積極的にお手伝いさせて頂いています | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---|---|-----------------------|-------------------------------|
| 61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。 | 散歩へ行ったり、買い物へ行ったり。その日の希望にそって出かけられる様にしてます | | |
| 62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。 | 希望がある際、その都度スタッフが一緒に出掛けれます。又バス遠足など行事の際に皆で外出出来る様にしてます | | |
| 63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。 | カウンターに電話機が置いてあり、自ら好きな時にかけられる様支援してます | | |
| 64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。 | 御家族や知人、友人等いつでも気軽に訪問でき居室・リビング・食堂などで居心地よく過ごせる様にしてます | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | |
| 65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 研修等に参加し、又アンケートを行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。社内に拘束委員会があり、具体的な行為など学習・検討してあります | | |
| 66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。 | ドアにフッターは付けていますが、基本日中は鍵を付けていません | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|---|-----------------------|-------------------------------|
| 67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。 | リビングや台所、カウンターにスタッフが必ずいる様にしており、日中・夜間時間を決めて、見回り、声掛け等行ない安全に配慮しています | | |
| 68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。 | 保管場所を決めて徹底し、状況を見ながら危険を防ぐ取り組みをしています | | |
| 69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。 | 事故報告書、ヒヤリハット報告書をまとめ、再度同じ事故がおこらない様スタッフ会議などで検討し事故防止に取り組んでいます | | |
| 70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。 | 全ての職員ではありませんが、普通救命講習に参加し、又1年に2回防災訓練を行なっています | | |
| 71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。 | 運営推進会議にて避難訓練を行い、地域の人々の協力を得られる様働きかけています | | |
| 72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。 | その都度御家族と話し合い対応策を考えています | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---|---|-----------------------|-------------------------------|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | |
| 73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。 | 毎日バイタル測定を行い、体調の変化はないか確認しています。食事量や特変ある場合等ケース記録記入し報告しています スタッフ間でも情報の共有に努めています | | |
| 74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。 | 内服薬のファイルに一人ずつ薬の内容の紙を分けて入れいつでも見られる様にしています。医師より指示があった事は受診状況ファイルに、変更や中止などがあった場合は申し送りノートに記入し確認しています | | |
| 75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。 | 水分量の少ない方はチェック表をつけて確認し、他の方も含めて、声掛けし水分を取って頂いています 又毎朝ラジオ体操を行ったり、牛乳を飲んで頂き取り組んでいます | | |
| 76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。 | 口腔ケアは全介助の方や見守りの方、自力で行える方それぞれいらいら、しるゝので状況に合わせて声掛け、見守り介助等支援しています。義歯洗浄剤は週2回行なっています | | |
| 77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。 | 食事チェック表やケース記録に記入し、一人ひとりの状態に応じた支援をしています。偏食がちで食事量が少なく栄養が偏っている方には、ラコール等で栄養を補って頂いています | | |
| 78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | マニュアルがあり取り組んでいます 毎年インフルエンザの予防接種を行っています | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|---|-----------------------|-------------------------------|
| 79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。 | 手洗い・消毒・調理用具等の消毒・食材に対して賞味期限などに十分気を付ける様努めています | | / |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり | | | |
| 80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。 | 玄関外には スロープ・傘すりがついています 花など玄関の囲りにプランターを置き家庭的な雰囲気作りをしています | | |
| 81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | リビングには季節に合わせた手作りカレンダーや写真など貼っています。日射しの調整、テレビの音量・会話のトーン等気を付ける様に工夫をしています | | |
| 82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。 | リビングでは気の合った同士ソファーに座られ、お話しされたり、TVを見られています。食卓では、新聞を読まれたり自由に過ごされています | | |
| 83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 居室はそれぞれ独自の環境の中で、心地よく暮らす生活空間になっています。仏壇を置かれたり、今まで使われた家具など使用されています | | |
| 84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の上よみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。 | 窓の開閉をし換気に努め、季節によって、カーテンをしたり扇風機をかけたり、加湿器等使用し、温度計、湿度計でも確認し調整しています | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|---|-----------------------|-------------------------------|
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | |
| 85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 | 居室・トイレ・廊下・浴室に手すりを設置しています | ○ | 玄関の階段に手すりがついていない為、設置する予定です。 |
| 86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。 | 居室・出入口に名前を貼るなどして、混乱されない様になっています | | |
| 87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。 | 建物の外回りに火田を作り、利用者の方にも手入れ収穫等楽しくお手伝い頂く様になっています | | |

| V. サービスの成果に関する項目 | | |
|------------------|--|--|
| 項目 | 取り組みの成果 | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | <ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | <ul style="list-style-type: none"> ① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | <ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている | <ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | <ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | <ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている | <ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | <ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない |

| V. サービスの成果に関する項目 | |
|------------------|--|
| 項目 | 取り組みの成果 |
| 96 | <p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている</p> <p>① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない</p> |
| 97 | <p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>① 大いに増えている ② 少しずつ増えている ③ あまり増えていない ④ 全くいない</p> |
| 98 | <p>職員は、生き生きと働けている</p> <p>① ほぼ全ての職員が ② 職員の2/3くらいが ③ 職員の1/3くらいが ④ ほとんどいない</p> |
| 99 | <p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない</p> |
| 100 | <p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>① ほぼ全ての家族等が ② 家族等の2/3くらいが ③ 家族等の1/3くらいが ④ ほとんどいない</p> |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

開設し9月で丸6年になりますが、今入居されている方が半数以上 5、6年目になります。
 お変りなく このまま お元気に自分らしく生活して頂ける様 一人ひとりに合わせ 支援していきたいと思ひます。